

JCI 

挑め
～輝くおさたの紡ぎ手として～



JCI AKITA 70th

7月号

AKITA

JC

NEWS

2022 authorized 32nd



2022年度 AKITA JCNEWS

◆第5 2回秋田ブロック大会in由利本荘を終えて

総務広報委員会 委員／川尻 国広

7月2日(土)に由利本荘市文化交流館カダーレにて行われた第5 2回秋田ブロック大会in由利本荘に出向役員として参加させて頂きました。本年度は秋田ブロック協議会へブロック大会運営委員会の委員長として出向させて頂き本事業は計画から携わりました。秋田ブロック協議会の活動の発信、そして各事業へのご理解とご協力への感謝を地域に伝える大切な機会として行われた本事業を通して多くのことを学ぶことができました。この事業の計画立案から準備、実施までに多くのメンバーの協力があり、LOM内の活動のみでは得られない経験や出会い、気づきもありました。

ブロック大会で私が担当させて頂いたのは式典事業、褒賞事業の2つでした。式典では開催地である由利本荘市の湊市長、にかほ市の市川市長をはじめとするご来賓よりご祝辞を賜り地域とのつながりを実感することが出来ました。

褒賞事業では秋田県内の各LOMからそれぞれエントリーされた事業を審査・褒賞する事業で本年は開催地の代表として由利本荘市から湊市長、にかほ市から市川市長、日本青年会議所で会頭を務められた村岡兼幸先輩、秋田県SDGs協会の杉本薫会長にお越し頂き審査をして頂きました。審査員の先生には各方面の視点から様々な質問をかけて頂き、その場でプレゼンテーションを見ていたメンバーにも多くの学びがあったと思います。

今回はブロック大会という事業に参加、設営するという両面からも学びの多い時間でした。



◆ 7月例会を終えて

事務・財政局 次長／七山 淳一

7月2日（土）、第52回秋田ブロック大会が開催された由利本荘市の、市民交流学習センターにて7月例会を開催致しました。

7月例会ではバッジ授与式を行い、今年度新たに入会した会員を参加者全員で迎え入れました。

また、冒頭の理事長挨拶の際、2023年度理事長当選者である須崎晃徳君が紹介され、一言挨拶を頂く場面がありました。JCI秋田に対する熱意や責任感が伝わってくる挨拶であり、出席したメンバーは須崎君の次年度への想いを共有できたのではないかと感じました。

正式に新しいメンバーを迎え、また次年度理事長お話を伺うことで、2022年も折り返しとなったこの時期に、今一度、心新たにJC活動・運動を行っていこうという気持ちになりました。

結びになりますが、コロナ禍の下、遠方での開催にもかかわらずご参加頂きましたメンバーの皆様には心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



◆サマーコンファレンス2022に参加して

副理事長／佐々木 俊幸

7月15日から17日、サマーコンファレンス2022が横浜市にて開催されました。

今年は、「しくみの数だけ、幸せがある」をテーマに、JCI日本の運動成果発信だけではなく、幸せを生み出す装置となりうる持続可能な運動や取組などを各協議会やLOMも発信、共有する場として、多数のフォーラムやセミナーが開催されました。

JCI日本の中島会頭と岸田首相の対談が行われたフォーラムでは、安倍元首相銃撃事件を受け、入場時の手荷物検査や金属探知機、警備の強化など物々しい雰囲気もありましたが、広い会場にびっしりと全国各地のメンバーが集い、熱心に対談に聞き入りました。その様子からは、全国規模の事業ならではの膨大なエネルギーと、これだけ多くの同志がいることの頼もしさや期待感がひしひしと感じられました。

16日の夜には、JCI東京千代田区委員会とJCI常陸太田との3LOM合同懇親会が開催されました。対面での開催は、コロナ禍になって以来初めてでした。近況を報告し合ったり、次年度の予定者や活動の話をしたり、卒業生が3LOMの思い出を語ったりして、大いに盛り上がりました。遠く離れ、異なる環境下でも、我々と同じくJC活動・運動に努力しているメンバーと親睦を深めることができ、とても刺激を受けました。

今回の参加を通じて、LOMとはまた違った学びが得られる渉外の意義を改めて感じました。この貴重な経験を多くのメンバーで共有し、JCI秋田の未来につなげていきたいと思えます。

